

平成24年度第2回長崎県スポーツ推進審議会会議録（要旨）

|   |  |
|---|--|
| <p>開催日時</p> <p>開催場所</p> <p>出席委員</p> <p>出席職員</p>           | <p>平成25年3月27日（水） 午後1時30分～3時</p> <p>セントヒル長崎3階 紫陽花の間</p> <p>小原委員、野田委員、釣船委員、五島委員、松山委員、今川委員、吉村委員、土岐委員、山浦委員、大熊委員、太田委員、上村委員、中平委員、柳澤委員、山田委員、長尾委員</p> <p>藤原国体・障害者スポーツ大会部長、宮下県民スポーツ課長、石山大会総務課長、川口施設調整課長、高橋体育保健課長、森競技力向上対策課長、尼崎参事、井上参事、島本総括補佐、深堀長寿社会課長補佐、大原障害福祉課長補佐、小柳課長補佐、上田課長補佐、宮田指導主事、井手指導主事、財団法人長崎県体育協会 古川事務局長</p>   |
| <p>会の成立</p> <p>開会</p> <p>あいさつ</p> <p>議長選出</p> <p>協議事項</p> | <p>委員20名 出席者16名</p> <p>藤原 国体・障害者スポーツ大会部長 あいさつ（省略）</p> <p>会長を議長に選出</p> <p>（1）平成25年度長崎県スポーツ推進基本方針について<br/> （それぞれ、各担当より資料に基づいて説明）<br/> 長崎県生涯スポーツ推進基本方針 県民スポーツ課より説明<br/> 長崎県の学校における体育・スポーツ推進基本方針 体育保健課より説明<br/> 長崎県競技スポーツ推進基本方針 競技力向上対策課より説明</p> <p>（議長）<br/> 意見・質問等はないか。</p> <p>（委員）<br/> 生涯スポーツにV・ファーレン長崎の支援とあり、学校体育推進には運動部活動の推進とあるが、諫早の県立総合運動公園の新陸上競技場の使用について、優先順位を教えてください。平成25年度中総体の陸上競技を諫早の新陸上競技場で予定していたが、V・ファーレンの試合が入ったため、開催日を変更しなければならない状況になった。V・ファーレンのホーム試合と陸上競技大会日が重なった時の運用はV・ファーレンを第一優先とするのか、学校体育の中総体だけは貸してやろうとかそういった配慮が今後なされていくのか。</p> <p>（議長）<br/> 関連して他にないか。</p> <p>（委員）<br/> 障害者スポーツ大会を年1回5月の最後の日曜日に開催しているが、委員と同じ理由で会場を変更した。新陸上競技場は県民スポーツの振興・活性化のために建設されたものであり障害者に対応したバリアフリーで平成25年度大会を新陸上競技場で開催できると非常に楽しみにしていたが、2月6日の調整会議で、突然、Jリーグ機構で決まったことで変更はできないとV・ファーレンの試合会場に決まった。新陸上競技場はV・ファーレンのための競技場ではないのにおかしい。あえて昨日のがんばらんば国体・がんばらんば大会の常任委員会でも善処していただくように要望した。</p> <p>（議長）<br/> 事務局いかがか。</p> <p>（事務局）<br/> V・ファーレンのホームスタジアムの関係だが、各団体が予定されている競技があるということは私どもも承知している。ひとつ事情があるのはホームスタジアムというのが、諫早の陸上競技場でないというJリーグの基準を満たしていないという、大きなハードルがあり</p> |

協議事項

各団体には格段のご協力をいただいている状況であり、今後皆さんの日程を聞きながら競技場の指定管理者とできるだけ調整できるように協議を行ってまいりたい。大変ご迷惑をおかけするが、ご協力の程をよろしくお願いしたい。

(委員)

事務局からJリーグのスタジアムの基準の説明があったが、今年はかきどまり陸上競技場で1試合やるようになっており、止むを得ない事情がある場合は、ホームスタジアムでなければいけないということではない。V・ファーレンによって県の陸上選手権大会や中総体、高総体など様々な県民スポーツの主要な大会が直前に変更を余儀なくされ大混乱している。

(議長)

V・ファーレンも県民の大切な財産であるのでそれはそれで育てていかなければいけないが、障害者大会、児童生徒たちの大会、あるいは県民の大会など当然使う権利がある。今後事前に各部署とよく協議されて、再来年のことになると思うが、県民が広く使用・活用できるようにしていただければと思う。

(委員)

説明会と調整会議に行ったので把握しているが、最初の説明会の折は、全ゲーム21回のうち、3、4回は指定をすれば他の競技で使えるようなニュアンスがあったが、最終的な調整会議の折には問答無用であった。私たちもねんりんピックがあるが、会場決定が2月過ぎでは事前に計画がたてられず、別でやらなければならないというのが現状だ。V・ファーレンを育てていくことも大切だが、長崎県として大きな大会の3つ4つは優先的に使わせるということをお願いできればと思う。説明会ではホームゲームでもだめなときは県外施設を使って試合ができるとの説明もあった。来年度のこともあるので、早急に優先的なものを検討していただき、決めていただければと思う。

(事務局)

今日いただいたご意見については、V・ファーレン長崎や指定管理者とも話をし、今後、みなさんのご意見も伺いながら進めていきたいと思う。

(議長)

スタジアムの使いかたも一つの基本方針なのかなと思う。検討をお願いしたい。

(委員)

基本方針として「全国健康福祉祭への選手派遣等の支援」があがっており、平成28年に長崎で全国大会がある。これから準備を進めることとなるが、その前に国体があるので、いろんな部分で注意がそちらに向いているため、少し期間的に心配な気持ちがある。全国健康福祉祭に向けた取り組みについては県民の支援を受けながら進めていきたいと考えている。

(事務局)

全国健康福祉祭については、県のほうでも25年度から準備経費を予算計上し、本格的な準備にとりかかる。早速4月から基本構想委員会立ち上げなどの準備を進め、市町と競技団体について、まずは出発点として参集いただき、今後の取り組みへのご協力をお願いする計画をしている。

(委員)

の生涯スポーツ推進基本方針の具体的方策の中に障害者スポーツ大会等の開催、全国障害者スポーツ大会出場選手の育成・強化支援とあり、には競技スポーツ推進基本方針があるがの平成25年度具体的方策の中には国体に向けた内容だけがあげられており障害者スポーツ大会がない。国体とともに全国障害者スポーツ大会の開催に向けて障害者スポーツの競技力もレベル向上している。そういう中、25年度の方策として全部国体だけで良いのか。

(議長)

障害者スポーツ大会も競技に違いないのでということだ。

|                |  |
|----------------|--|
| <p>協議事項</p>    | <p>(事務局)<br/>お尋ねの選手育成強化については、予算的には平成25年度において、約1千3百万円ほど確保して、長崎県障害者スポーツ協会に委託し、一緒に取り組んでいる。具体的な選手育成の計画は、平成23年4月にスポーツ協会にご協力いただき、大会までの事業計画を作り、それに基づき、障害者の選手育成強化を図っており、資料の基本方針とは別の計画で障害者スポーツについて取り組んでいる。</p> <p>(議長)<br/>基本方針との関わりで、どのように位置づけるかだが、実際にやられていてもそのへんをご検討いただければと思う。</p> <p>(委員)<br/>是非そういう配慮をお願いしたい。</p> <p>(議長)<br/>今後事務局のほうで検討いただきたい。</p> <p>(委員)<br/>障害者のということで質問だが、ジュニアの育成が国体のほうには書かれているが、特別支援学校とかそのような対象の子ども達は、学校体育に関わるかと思うが、技術の向上あるいはいろんなスポーツに取り組む機会を与える派遣などいろんな企画もされているのか。</p> <p>(事務局)<br/>特別支援学校との連携も含めて計画を作っており、その中で一緒に特別支援学校の皆様とも連携強化の取り組みを行っている。</p> <p>(委員)<br/>障害者のスポーツというのが、今、世界的にもレベル向上しており、小さい頃から携わることが夢につながっていることもよく見るので、是非、長崎県でもはやく実施して欲しいと思う。</p> <p>(議長)<br/>他にはないか。障害者スポーツ大会、競技場の使い方など意見が出たので、今後、県の施策に反映するように活かしていただくということをお願いしたい。</p> |
| <p>報告・説明事項</p> | <p>(1)平成25年度各課の主要事業について<br/>(それぞれ、各担当より資料に基づいて説明)<br/>生涯スポーツに関する主要事業 県民スポーツ課、長寿社会課、障害福祉課より説明<br/>体育スポーツに関する主要事業 体育保健課より説明<br/>競技スポーツに関する主要事業 競技力向上対策課より説明</p> <p>(議長)<br/>今朝、朝刊を見て感じたが、先だってガンバ大阪とV・ファーレン長崎の試合には2万人位のファンの観戦者があり、次の試合は2千人位に減ってしまった。諫早市もそうだったと思うが、特に2万人も集まったのに何も企画されなかった。県外から来られた方で旦那さんは競技観戦、奥さん達は長崎市観光だったとか。V・ファーレンの観戦と観光とツーリズムに、より積極的に関わられるような具体的な対策が必要かと思う。</p> <p>(委員)<br/>学校体育・スポーツに関する主要事業と競技スポーツに関わってくると思うが、今、部活の指導で体罰のことが問題になっている。現状でどれくらい把握されているのか。結果主義のかたちの何位とか目標順位をあげられているので、競技力を強くしてゆくという点では体罰に対する対策や手立てが練りこまれているのかと思うが、具体的にはどのように考えているのか。</p> <p>(議長)<br/>学校体育お願いします。</p>  |

報告・説明事項

(事務局)

体罰についての把握は現在調査が進んでおり結果を待っているところである。私どもの方針は、具体的には以前から各種研修会等の機会をみて、体罰の防止、教育的に効果の高い部活動の指導、学校教育活動では体罰禁止の話をしている。これから発行する長崎県の運動部活動の手引きの中に、部活の指導者の資質の向上と体罰に頼らない指導のあり方等を文部科学省の指針を受けながら盛り込む予定にしている。また、外部指導者の活用時についても確認事項としてそのような項目を盛り込む予定である。

(事務局)

競技力については、委員から発言があったように目標を決めるが、勝利至上主義ではない。競技力の高い選手は人間性も高くなっていただきたいと思っているし、人間性の高い選手が結果を出して欲しいと思っている。両方の立場で高体連、中体連にもお願いしている。今後、体罰の件と別に、指導者を集める機会も多くなってくると思うので、そのところも随時言い続けてお願いして行こうと思っている。

(委員)

体罰と併せて、柔道連盟の指導者に伴う経費が不明で問題になっている。長崎県でも強化・運営の面でお金が動いていると思うが、それぞれ競技団体、競技組織で若干変わった形で支給されていると思う。その点について規制無く各団体に委託料とか補助金を出し運営をしているのか。謝金とかそれに伴う経費がどうなっているのか、曖昧な点があるのかどうか現状をお聞きしたい。

(事務局)

競技力のほうからは、ジュニアスポーツ推進事業で中体連、あるいは高校の国体拠点校、強化校にお金を助成しているが、以前からジュニアスポーツ推進事業については強化校、推進校というかたちで、前年度に強かったところを指定し助成している。それが50年に1回の国体が来るので少し予算がついた。いわゆる拠点校というのは、国体が終わっても中学校を巻き込んで拠点になって活動するお金として使っていただくように指導している。今、委員から質問があったが、要綱があり、きちんとしたかたちで中体連にも高体連にもその要綱に沿った申請により使っていただいております、終わったあとは領収証等を精査し間違いないようにしている。

(2) 長崎がんばらんば国体及びがんばらんば大会を契機としたスポーツ振興のあり方について

(事務局)

県民スポーツ課より資料に基づいて説明

(委員)

今後のあり方についてスポーツ推進審議会に諮問するという事なので、この機会に言っておきたい。

障害者スポーツは県民の認知度、理解度が非常に低い。そのため来年のがんばらんば大会に向け、大会を通して障害者スポーツを普及振興させたいということで、昨年9月に関係機関の皆さんにご協力いただきPRキャラバン隊を作り、県内全ての市町を回って、大会のPRと障害者スポーツのPRを行ってきた。

一般の方に比べてより健康の維持増進であるとかリハビリであるとか、さらに豊かな人生を送るために、障害者にとってスポーツの果たす役割は非常に大きい。そういう観点から一昨年スポーツ基本法第2条の基本理念の中に障害者スポーツの推進というのが明記されたところであり、昨年のロンドンパラリンピックでは強化費用の面で若干強化されたというふうな実情がある。

しかしながら、オリンピックのメダリスト達が銀座をパレードしたのはパラリンピックが終わる前であり、パラリンピックのメダリストと一緒に祝賀パレードに臨む事ができなかった。これはマスコミを始め国の政策など色々な大きな問題があると思う。今後この審議会に諮問をされるので、そういうことを含め、障害者スポーツの振興をあらゆる観点から議論をして参りたいと思う。

(議長)

貴重な意見を有難うございました。昨年7月の中央教育審議会でインクルーシブ教育ということで、健常者と分ける教育ではなく、混ざり合って教育しようと学校教育もそうなっているので、これから社会全体も分けるということが無いような方向になるのではないかと思います。事務局でも念頭に置かれて施策を検討していただければと思う。

|         |   |
|---------|---|
| 報告・説明事項 | <p>( 3 ) 第 6 9 回国民体育大会、第 1 4 回全国障害者スポーツ大会開催に向けての主な準備概要について<br/>(事務局)<br/>大会総務課より資料に基づき説明</p> <p>(議長)<br/>それぞれ着々と準備が進んでいるようだ。</p> <p>(委員)<br/>3月10日のV・ファーレン長崎の試合の時は諫早が東京の街のようにすごい人出で渋滞になり、周りの人達は困ったと聞いたので、国体の開会式・閉会式の時は渋滞の無いようにお願いしたい。駐車場とか、そういう面で回避をお願いしたい。</p> <p>(事務局)<br/>国体の開会式は3万3千人ほどの大会参加者が見込まれており既に準備にかかっているが、交通量調査なども行い、計画的なバスの輸送、あるいはパークアンドライドにより会場には原則、乗用車での来場はお断りするというかたちで進めている。もうひとつ大事なものがマイカー、あるいは企業・事業所の車の利用の自粛で、全体の交通量をいかに抑制するかについて、今年秋頃から交通総量抑制会議を設置し、企業団体にも参加いただきながら県民あげて交通量を抑制したいと考えている。</p> <p>( 4 ) 平成 2 5 年度全国高等学校総合体育大会の概要について<br/>(事務局)<br/>体育保健課より資料に基づいて説明</p> <p>(議長)<br/>高校におかれては高総文祭、高総体、国体に向け大変な取り組みとなるので、ご協力をよろしくお願いしたい。</p> <p>( 5 ) 平成 2 4 年度長崎県スポーツ表彰について (説明省略)</p> <p>( 6 ) 各種競技大会における主な成績について (説明省略)</p> <p>(委員)<br/>初めて長崎県スポーツ表彰式に出席し、それぞれ教育委員会と教育長の表彰状の授与があったが、その中に障害者スポーツ選手はいなかった。副島選手はロンドンパラリンピック車イスマラソンで3位入賞は逃したが堂々の4位であり、昨年岐阜での全国障害者スポーツ大会では西海市の田中君がジャベリックスロ - で大会新記録で優勝した。教育委員会が主催なので学校教育が中心なのは理解できるが、特別賞とか功労賞とか色んな表彰があり、選考の基準は違うかと思うが、障害者スポーツ選手も関係団体と調整しこの中には是非入れて欲しい。</p> <p>(事務局)<br/>現在の障害者スポーツに対する表彰がどのようになっているか説明してから、対応についてお答えしたい。現在、長崎県の場合は、県民表彰のなかに特別賞があり、その中で例えば先ほど出た、ロンドンパラリンピック車イスマラソンの副島選手は平成24年度表彰を行っており、前の年は水泳選手の表彰を行っている。今のご意見はこれとは別の表彰制度を設けたらいいかというご意見だと思うが、九州で障害者スポーツに対する表彰制度を行っているのは佐賀県と宮崎県で、佐賀県は障害のある方もない方も一緒に表彰を行っており、宮崎県は別々だが表彰の際は一緒に行っている。現在委員が会長をされている県障害者スポーツ協会でも表彰制度をご検討されているとお聞きしているので、そういった状況を踏まえながら県として新たな障害者スポーツに対する表彰制度について検討していきたいと考えている。</p> |
| あいさつ    | 藤原 国体・障害者スポーツ大会部長 あいさつ (省略)   |
| その他     | (事務局)<br>次回の本審議会は7月に開催予定です。   |
| 閉会      | 15時5分終了   |